

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	国語ⅡA
科目基礎情報				
科目番号	0033	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科	対象学年	2	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	井口時男ほか『現代文B』(教育出版、2018年)、『ことばを広げる新漢字ノート』(浜島書店)			
担当教員	加藤 達彦			
到達目標				
1.話し手の言葉を聞き取り理解することができる。(聞く力) 2.授業で扱う様々な文章を読解することができる。(読む力) 3.自分の思いや考えを表現することができる。(書く力) 4.常用漢字をほぼ読み書きできる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	話し手(書き手)の言葉を正確に聞き取り(読み取り)、かつ真意を推し量り、対応することができる。	話し手(書き手)の言葉を正確に聞き取り(読み取り)理解することができる。	話し手(書き手)の言葉を正確に聞き取り(読み取り)理解することができない。	
評価項目2	常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解し、かつ鑑賞することができる。	常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解することができる。	常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解することができない。	
評価項目3	常用漢字を使い、自分の思いや考え方を的確に、かつ独創的に表現することができる。	常用漢字を使い、自分の思いや考え方を的確に表現することができる。	常用漢字を使い、自分の思いや考え方を的確に表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係				
準学士課程 3(1)				
教育方法等				
概要	国語Ⅱでは、特に「読む」「書く」等の基礎学力の向上を重視する。また古典的な文章を通じ、広く日本の文化や伝統に触れ、基礎的な知識を身につけると同時に豊かな人間性を養うべく、幅広い視点から教養を深めることを目標とする。			
授業の進め方・方法	①授業は基本的に教科書に沿って講義形式(スライド説明)で行う。 ②講義は集中して聴き、ノートを取るのは当然である。それに加えて、自分の意見やアイディアを記録する癖をつけること。 ③漢字テキストについては、毎週小テストを行うので、テスト範囲にあわせて自学自習を進めておくこと。 ④指示された課題は、目的を理解して丁寧に取り組み、期限までに確実に提出すること。			
注意点	自ら疑問点を出し、積極的に質問して授業の中で解決していくという態度が大切である。そのためにも予習として前もって作品を読み、わからない語句等を辞書で調べてくることが望ましい。  なお、欠課時数が1/3を超えた場合は基本的に年度内再評価は認めない。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイドance	
		2週	①隨想(1) 姫尚中等を読解する。	
		3週	②隨想(1) 姫尚中等を読解する。	
		4週	①評論(1) 清岡卓行等を読解する。	
		5週	②評論(1) 清岡卓行等を読解する。	
		6週	③評論(1) 清岡卓行等を読解する。	
		7週	教科書の内容および常用漢字・語彙の復習	
		8週	前期中間課題	
前期	2ndQ	9週	①小説(1) 中島敦を読解する。	
		10週	②小説(1) 中島敦を読解する。	
		11週	③小説(1) 中島敦を読解する。	
		12週	④小説(1) 中島敦を読解する。	
		13週	①詩歌(1) 萩原朔太郎等を読解する。	
		14週	②詩歌(1) 萩原朔太郎等を読解する。	
		15週	(前期期末試験)	
		16週	試験の解答と解説	
評価割合				

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	0	0	0	0	65	100
基礎的能力	35	0	0	0	0	65	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0